

日本風景街道だより

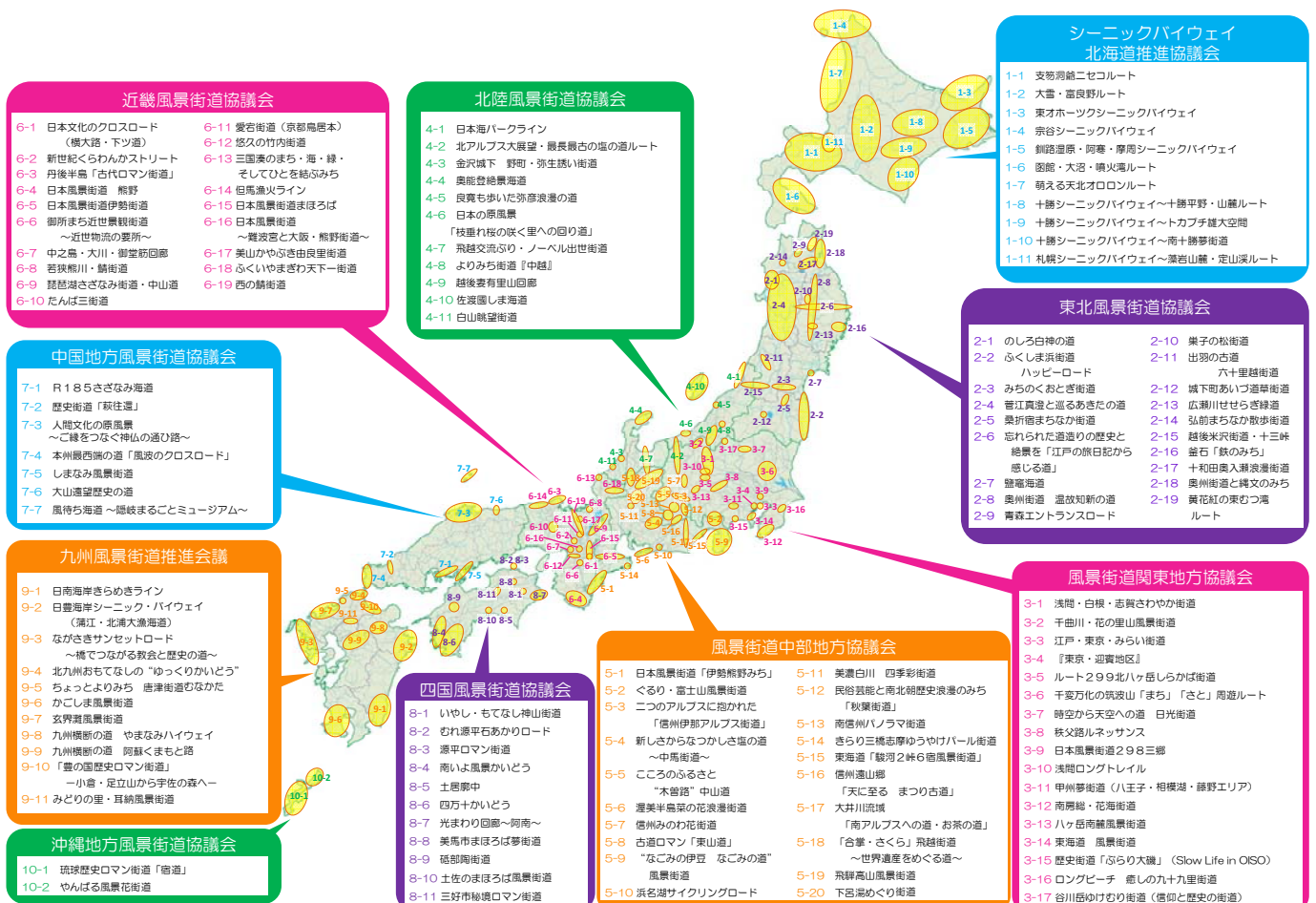
2013年 冬 Vol. 22

全国で128の風景街道が登録

全国で128の風景街道が登録されています(平成24年8月末現在)。

登録された各風景街道の概要は、日本風景街道ホームページ

(<http://www.mlitt.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/index.html>)、もしくは各風景街道地方協議会ホームページで閲覧することができます。



シリーズ:各地域の風景街道の取り組み

本州最西端の道「風波のクロスロード」の取り組み

ルート名：本州最西端の道「風波のクロスロード」

1. ルートの概要

日本風景街道下関ルートは、平成19年9月中国地方では最初の登録ルートのひとつとしてスタートしました。本州最西端を巡る周回コースで、瀬戸内海国立公園の景観、多くの船の行きかう日本三大急流のひとつ関門海峡や関門橋、奇岩絶壁の北長門国定公園を望む通称ブルーラインを経て、グリーンラインと呼ばれる田園地域を巡る160Kmのコースです。

交通の結節点として、ドライブするだけでも大変楽しめるコースですが、ルートは景観だけでなく名所・旧跡、おいしい食、日本の転換期に必ず登場する歴史遺産、自然、温泉、異国情緒あふれるレトロな建物、更に街道でのイベント等がそこら中にありどこに行くか迷う程すばらしいルートです。



本州最西端の道「風波のクロスロード」の位置

2. 夢街道ルネサンス(脚注参照)との連携

風景街道の活動は、現状に満足するだけでなくルート沿線の多様な主体が地域づくりを進め、地域の魅力をさらにアップすることにあります。こうした点での活動を線で結び、更に面にする取組が必要となってくるため、地域の夢街道ルネサンス認定地区との連携を強化しています。

周回160Kmあるコースでは、車から休憩のため下車してゆっくり楽しめる場所も当然必要となってきます。3か所の道の駅や、多くの温泉に浸かるもよし、おいしい地元の食を楽しみ、地域の人々との交流等も旅の楽しみのひとつです。

この下関ルート内には、3か所の夢街道ルネサンスが認定されており、これらの「毛利侯御殿湯街道」、「豊田ほたる街道」、「城下町長府夢街道」との連携、更にお隣りにある長門市の「ながと大内湯けむり街道」とも連携しています。

風景街道は、ルートが長く我々だけでは地域づくりはできません。そこで、夢街道ルネサンス認定地区との相互連携により、ルート全体を良くすることに主眼を置いて活動しており、豊田ほたる街道、城下町長府夢街道、ながと大内湯けむり街道の3地区では、夢街道ルネサンスの認定支援活動も行うなど、点から線へさらに面へと広がりを見せています。また、夢街道ルネサンス認定地区同士の連携も行われてきています。



「豊田ほたる街道」
豊田地域づくりひとづくりフォーラム



「ながと大内湯けむり街道」ワークショップ

3. 活動事例紹介

風景街道・夢街道ルネサンスでは、地域づくりの活動が活発に行われております。活動の一部を紹介します。

(1) 景観整備

下関市中心部の国道沿線の「花いっぱい計画」や、中心部斜面住宅地の荒れた空地进行整備し「まちなか菜園」とする活動を行っています。



「下関花いっぱい計画」国道沿線の花壇管理



荒れた斜面地住宅地を活用した「まちなか菜園」

(2) 賑わい創出事業

中心市街地の賑わいを取り戻すため、軽トラ市場やモンゴルのゲルを活用した市場と屋台村の開設などを行い、中心部への誘客を図り賑わい創出事業を行ってきました。



海峡軽トラ市場



海峡市場パオ



海峡屋台村

(3) 街道の整備

日本風景街道下関ルートでは、山陽道や赤間関街道、肥中街道等旧街道が縦横に走っていました。この旧街道を整備し地域活性化を図っていく活動が盛んに行われています。

豊田ほたる街道では、大内時代に造られた山口と肥中を結ぶ肥中街道の整備を行い、沿道で「花いっぱい運動」を展開し整備された街道でのウォーキング大会を開催、豊北町のグループも、肥中街道と萩と旧赤間関(現下関)を結ぶ赤間関街道北浦道の整備を行い、やはりウォーキング大会を実施しています。



整備された旧街道



ウォーキング大会

4. 地域資源発掘と語り部養成

地域を知り何をどう生かしていくのか、そのための地域資源発掘ツアーを開催し、その参加者によるワークショップを行ってきました。地域資源をどう発信していくかが大変重要となるので、語り部養成講座も3回開催しました。又商工会議所が中心となり下関歴史検定も実施し、市民の1,000人近くが学士課程をクリアし、観光ボランティア登録者も33名となっています。



地域資源発掘ツアー



ワークショップ

5. 街道を活用したイベント紹介

日本風景街道下関ルートを活用した3大イベントが毎年開催され、健康志向もあり毎回全国より多くの方が参加します。このイベントの人気は、ルートの素晴らしさもさることながら、それを支える多くのボランティアと沿道の声援、おもてなしの心にあります。



維新海峡ウォーク



ソールドしものせき



海響マラソン

6. さらなる連携へ

山口県内で活動する日本風景街道と夢街道ルネサンスが合同で、活動報告や今後の進め方など協議する「山口県街道交流会」を開催しています。

街道交流会では、各地区が連携のため何をすればよいか等を討議し、メーリングリストによる情報発信、情報の共有化を行い、共通のロゴマークやワッペン・ノボリの作成、日本風景街道・夢街道ルネサンスのPR、広域マップの作製等今後多くの連携事業が提案されました。

また、全員で認定地区の視察によりお互いのスキルアップを行っていくこと等も決定しました。今後、街道交流会を通して山口県内全域での連携強化により風景街道・夢街道ルネサンスの大いなる発展を期待しています。



山口県街道交流会

< 執筆者 >

日本風景街道下関ルート事務局長 大迫芳彦

(注)

夢街道ルネサンスは、歴史や文化を今に伝える「街道」を活かし、地域が主体となって、個性ある地域づくりや交流を進める中国地方独自の取組です。

下記ホームページでも紹介しています。

<http://www.cgr.mlit.go.jp/cgkansen/yumekaidou/pc/index.html>

シリーズ:各地域の風景街道の取り組み

第6回 北陸風景街道交流会議

「発信から連携、そして発展へ」

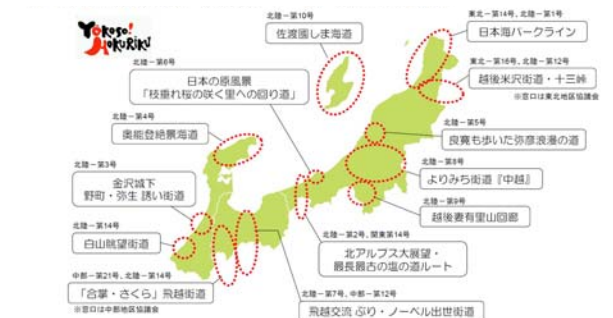
北陸風景街道協議会

1. 北陸の風景街道

北陸地域における風景街道は、平成19年10月より登録がスタートし、平成25年1月末現在、13ルートが登録され、各地で活動が展開されています。

2. 「北陸 風景街道交流会議」とは

風景街道登録ルートを対象に継続的な活動に繋げること、より活発な活動とすることを目的として、平成18年度から「北陸 風景街道交流会議」を年1回開催しています。



北陸 風景街道 登録ルート一覧(H25年1月末現在)

3. 今年度の開催概要

- ◇ 日程:平成24年11月5(月)、6日(火)
- ◇ 会場:アオーレ長岡(新潟県長岡市)
- ◇ 概要:11月5日(月) 交流会議、11月6日(火) グループ討議

4. 会議内容

(1) 交流会議のコンセプト

今回の交流会議では、前回会議後(H22)に実施したアンケートで、「活発に活動している団体の報告を詳しく聞きたい」、「報告だけでなく質疑応答の時間も必要」という意見があり、活動報告の時間を長くとり、より詳しい内容について説明して頂きました。

また、「2日目にもディスカッションの時間がほしい」、「各ルートで活動内容、方向性に違いがあるので、2～3の大きなグループに分けて討議するやり方もある。」という過去に頂いた意見から今回は2つのテーマを設定し、グループ討議を行いました。テーマは、ヒアリング結果より「商品開発・人材育成・支援」、「連携・広報」としました。

会場全体で自由に議論してもらえるように、「わいわいと賑やかに、楽しく」という雰囲気をコンセプトに、北陸の11ルート、約80名の参加者を迎え開催しました。



開催地長岡市磯田副市長のあいさつ



活動報告の様子

（２）各ルートからの発表

アドバイザーには、(株)富士通総研の臼井純子理事、日本風景街道戦略会議委員の森野美德氏、国交省道路局環境安全課道路環境調査室の森本室長を迎え、活動成果についてコメントや今後の活動展開へアドバイスを頂きました。

また、北海道、中部ブロックからの参加もあり、北陸以外の風景街道関係者と連携するきっかけもできました。

報告された活動は以下に挙げるように多種多様であり、お互いに新たな活動を模索する検討材料となりました。



森本室長から最近の話題提供

- ✧ 案内パンフレット・ガイドマップ作成
- ✧ ウォーキングイベント
- ✧ HPからの情報発信
- ✧ 地域住民とのワークショップ
- ✧ 道路清掃活動
- ✧ 植樹・植栽支援活動

参加者からは、各ルートの取り組みの工夫を尋ねる質問に加え、「日本風景街道戦略会議の提言にある国民的な運動に未だなっていない。戦略会議のメンバーに現状を把握してもらい、リアクションしてもらいたい。」という全体に対する意見も出るなど、活動報告における会場でのやりとりは大いに盛り上がりました。

各ルートからの報告の他に、国交省からも風景街道活動を支援する取組として、全国的に活動の課題となっている「資金の確保」、「広報の充実」などについて、森本室長より話題提供して頂きました。

（３）グループ討議

2つのテーマについて、同じ悩みを抱えて活動している関係者同士で課題と向き合い、予定していた終了時間まで熱心に議論がされました。

討議内での主な意見については以下のとおりです。

○商品開発・人材育成・支援

- ✧ 来訪者が周遊するツーリズムだけでなく、将来的に商売となる地域商品の開発が必要
- ✧ 新しい人を取り込むには、活動目標を設定してやりがいを感じる仕組みづくりが必要
- ✧ 縦割りの行政を動かすためには、活動団体が活動を通して横断的に働きかけていくことも効果的

○連携・広報

- ✧ ブロックを超えた広域な連携による活動展開の模索が必要
- ✧ 風景街道に関する新聞記事を掲載してもらうための地域新聞社との関係づくりが必要
- ✧ 高速SAに配布するパンフ等と連携した広報の試みが有効



グループ討議の様子



臼井氏からグループ討議の総括



森野氏からグループ討議の総括

(4) 交流会

交流会では各ルートによるPRブースを用意し、持参したパンフレット、ガイドマップ、カレンダー等を展示してもらい、互いの活動成果を実際に手に取って見てもらうことや、1分スピーチによるPRの時間を設けて各ルートの方から紹介して頂きました。参加者は、会場内を自由に移動して交流を深め、より密な情報交換がされておりました。今後も関係者同士のネットワークを拓けることにより、新たな活動へ繋げてもらいたいと思います。

会場内に東北大震災のパネルについても展示し、参加者は被災から復旧までの記録に真剣に目を通していました。



PRブースの設置状況



交流会の様子

5. おわりに

「発信から連携、そして発展へ」をテーマに開催することで、参加されたルート関係者の方々は今後の連携を視野に他ルートと積極的な交流を行っていました。活動報告や議論された内容を参考に各自今後の活動展開を検討してもらうことや、パートナーシップ同士が多方面に連携を試みることで、北陸風景街道全体の発展に役立てられることを願っています。

シリーズ：社会資本整備総合交付金等の活用事例

自然と美しく共生するふれあいの道、感動の道、やさしい道

ルート名：八ヶ岳南麓風景街道
(山梨県北杜市)

1. 八ヶ岳南麓風景街道の概要

八ヶ岳南麓風景街道は、山梨県の北西部に位置する北杜市内の中央自動車道小淵沢IC、長坂IC、須玉ICを結ぶ八ヶ岳高原ライン、レインボーライン、清里高原道路及び国道141号などをメインとしたルートです。

北は赤岳(あかだけ 標高2,899m)をはじめとする八ヶ岳連峰、南には富士山、西には鳳凰三山や甲斐駒ヶ岳(かいこまがたけ 標高2,967m)の連なる南アルプス、東には茅ヶ岳(かやがたけ 標高1,703m)や瑞牆山(みずがきやま 標高2,230m)などの日本を代表する美しい山岳景観に360° 囲まれています。また、清らかで豊富な水資源、高原性の気候、日本で一番長い日照時間、歴史的な町並みや滞在型温泉地、高原リゾート地など、豊かな資源に恵まれた地域です。

このような豊富な地域資源を活用して、八ヶ岳南麓風景街道では、「自然と美しく共生するふれあいの道、感動の道、やさしい道」をコンセプトに、「八ヶ岳南麓の雄大な山岳風景と野生動植物を育む山麓と、自然の恵みを糧として暮らしてきた人々の文化と歴史が息づく里山の二つの地域を巡り、学び、楽しみ、肌で感じる」ことができる道を創っていく」ことを目指しています。



風景街道ルートと地域資源



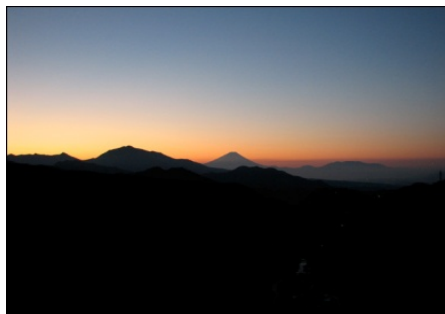
八ヶ岳連峰と東沢大橋



八ヶ岳連峰と広大な牧草地



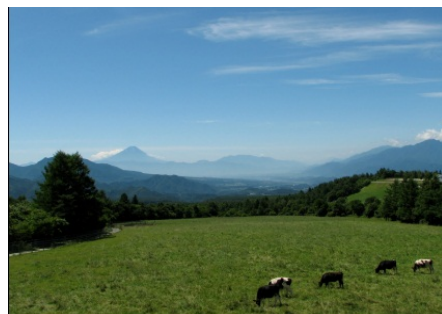
南アルプスと田園風景



八ヶ岳南麓からみた富士山1



八ヶ岳南麓からみた富士山2



八ヶ岳南麓からみた富士山3



清泉寮



三分一湧水



ハケ岳高原大橋

2. ハケ岳南麓風景街道の活動

ハケ岳南麓風景街道は、平成19年10月に登録され、心地よい道づくりを通して、自然と美しく共存するハケ岳南麓地域にすることを目的とし、以下4つを柱として活動しています。

- 1)ハケ岳南麓の自然や歴史・文化を語る道の復古・再生
- 2)ハケ岳南麓の豊かな自然と、素晴らしい眺望の価値を高める活動
- 3)道のつながり機能を活かした多様な楽しみの提供
- 4)ハケ岳南麓の美しい沿道景観の促進

最近の主な活動としては、ワークショップの開催、景観に配慮した防護柵の色塗り替えイベントの開催です。

ワークショップの開催は、一般の方々に広くワークショップ開催を呼びかけ、ハケ岳南麓の自然・文化・歴史等に調和した沿道景観づくりを目指して、現地観察会や意見交換会を通して参加者と一緒に考える取り組みです。

景観に配慮した防護柵の色塗り替えイベントは、本来、道路管理者が行うべき作業を、一般の方々及び行政と協働して、ハケ岳南麓の景観に配慮した防護柵の色に塗り替えるイベントで継続的に実施している取り組みです。地道な作業ですが、今までの白や赤白といった防護柵の色が景観色(ダークブラウン色)に塗り替えられると、周辺景観と調和が図られ、イベント参加者から色が変わるだけで景観が良くなることに驚きのご意見等をいただき、景観に対する色の重要性について理解していただいています。



ワークショップ:現地観察会



ワークショップ:意見交換会



防護柵塗り替え前



防護柵塗り替え中



防護柵塗り替え後



景観色塗り替え後の防護柵とハケ岳連峰

3. 社会資本整備総合交付金等を活用したシーニックデッキの整備

シーニックデッキは、シーニックバイウェイ北海道において、みちをきっかけにして地域の景観ポイントを紹介する「新たな視点場としての木製展望所」として各ルートで設置されているものを参考にさせていただきました。

ハヶ岳南麓風景街道におけるシーニックデッキの整備は、「ハヶ岳南麓の豊かな自然と、素晴らしい眺望の価値を高める活動」の一環として取り組んだ活動です。ハヶ岳南麓地域では、ハヶ岳の山々や草木の緑を、どの場所からでも見ることはできますが、主要道路沿いには、電線や建物など人工構造物が無い風景が意外と少ないため、主要道路上において、ハヶ岳南麓風景街道の代表的な高原風景を訪れた人々に無料で楽しんでもらうための場所を提供することを目的としています。また、ハヶ岳連峰の眼下には広大な牧草地が広がっており、その牧草地を時折、野生のニホンジカが群れで訪れるのを目の当たりにすることもできることから、私たちハヶ岳南麓風景街道メンバーの中では通称「シカデッキ」とも呼び、親しんでいます。

さて、このシーニックデッキの整備に当たっては、ハヶ岳南麓風景街道メンバーが展望デッキを製作し、この地を訪れた人々が展望台に立ち寄っていただくための駐車スペースを道路管理者(山梨県)が整備し、製作した展望台の設置に関して地元自治体(北杜市)が道路占用を受け、管理に関してハヶ岳南麓風景街道の会が「やまなし土木施設環境ボランティア」として道路管理者と合意書を交わすことによって、実現することができました。なお、「やまなし土木施設環境ボランティア」として道路管理者と合意書を交わすことによって、ハヶ岳南麓風景街道の会は展望台とその周辺の維持・管理を行い、その管理に必要となる資材(作業手袋、刈払機の替え刃、ゴミ袋等)について道路管理者が支給することとなっています。まさに官民一体で取り組んだ活動です。

この取り組みには、道路管理者(山梨県)が主要地方道北杜ハヶ岳公園線(通称:清里高原道路)の路肩に駐車スペースを整備する際、社会資本整備総合交付金を活用し、平成20年度に効果促進事業の「ハヶ岳南麓眺望施設整備事業」として、世界に誇れるハヶ岳南麓風景を観光客に楽しんでもらうため、眺望の良い箇所に駐車場を整備し、ハヶ岳南麓地域の観光振興を図ることを目的に実施されたものです。



案内看板



展望デッキ製作中



展望デッキ完成



展望デッキからのハヶ岳連峰(冬と夏)



野生のニホンジカとの出会い



交付金を活用し整備した展望デッキに併設された駐車帯

4. さいごに

現在、シーニックデッキを訪れた人々に対し、快適に利用していただくため、駐車場エリアを含めたシーニックデッキの維持管理をハヶ岳南麓風景街道メンバーにて定期的な草刈りや補修等を実施しています。



シーニックデッキ草刈り前



草刈り作業中1



草刈り作業中2



草刈り作業完了1



草刈り作業完了2

今後は、このシーニックデッキを活かした取り組みについて、ウォーキングコースの設定やウォーキングイベントの開催等の展開を目指し、ハヶ岳南麓地域のさらなる魅力の向上に努めるとともに、広く情報発信して参りたいと思います。

風景街道地方協議会及び連絡窓口はこちらへ

風景街道の活動を積極的に支援するために、各風景街道地方協議会に連絡窓口を設置しております。
日本風景街道に関するご相談等がございましたら、風景街道地方協議会の連絡窓口までご連絡下さい。

◆風景街道地方協議会の連絡窓口一覧

担当部署	担当者氏名	電話番号
シーニックバイウェイ北海道推進協議会 (北海道開発局 建設部 道路計画課 内)	畑山 朗	011-709-2311(代表) (内線 5845)
東北風景街道協議会 (東北地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	宍戸 英雄	022-225-2171(代表) (内線 4256)
風景街道関東地方協議会 (関東地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	吉沢 仁	048-601-3151(代表) (内線 4252)
北陸 風景街道協議会 (北陸地方整備局 道路部 道路計画課 内)	遠藤 正樹	025-280-8880(代表) (内線 4213)
風景街道中部地方協議会 (中部地方整備局 道路部 計画調整課 内)	服部 一宏	052-953-8171(代表) (内線 4312)
近畿風景街道協議会 (近畿地方整備局 道路部 地域道路課 内)	田島 祐介	06-6942-1141(代表) (内線 4612)
中国地方風景街道協議会 (中国地方整備局 道路部 地域道路課 内)	妹尾 圭人	082-221-9231(代表) (内線 4613)
四国風景街道協議会 (四国地方整備局 道路部 地域道路課 内)	渡辺 修身	087-851-8061(代表) (内線 4612)
九州風景街道推進会議 (九州地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	鈴木 昭人	092-471-6331(代表) (内線 4252)
沖縄地方風景街道協議会 (沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課 内)	末光 勇次	098-866-1914(代表) (内線 4353)

【ご意見お寄せください】

日本風景街道だよりは、地域の皆様へ様々な情報を提供することを目的に年 4 回程度発行する予定にしています。掲載内容などご意見・ご感想がございましたら、下記までお気軽にお寄せください。

日本風景街道だより

発行：国土交通省道路局環境安全課道路環境調査室
東京都千代田区霞が関 2-1-3
TEL: 03-5253-8497 FAX: 03-5253-1622

<http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/index.html>